

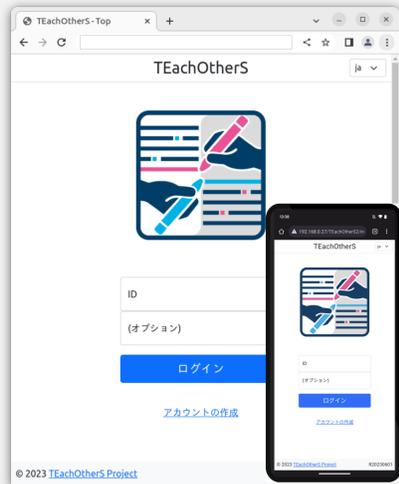
協同型作文教育支援システムTEachOtherSにおける 作文の改訂支援機構の実現

山口昌也 徐煉 張曦冉
(国立国語研究所)

背景

協同型作文教育支援システムTEachOtherS

- グループ活動を含む作文教育を支援
 - 相互コメントや振り返り活動などの学習者のグループ活動の支援
 - 教師に対する活動管理の支援
- Webアプリケーションとして実現



対象とする活動

- 大まかな流れ
 - ① 各自作文
 - ② 相互コメント
 - ③ グループで振り返り
 - ④ ②・③に基づき、各自作文を改訂(②～④は繰り返してもよい)
 - ⑤ 教師に提出
- グループは2～4名程度(総学習者数20名程度)

グループ活動における作文改訂支援の必要性

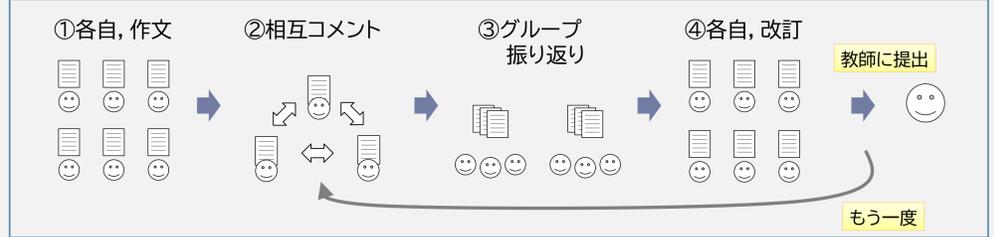
改訂に伴う作文のバージョン管理

- 作文、アノテーションの共有
- 全員が正しい版の作文を対象に活動

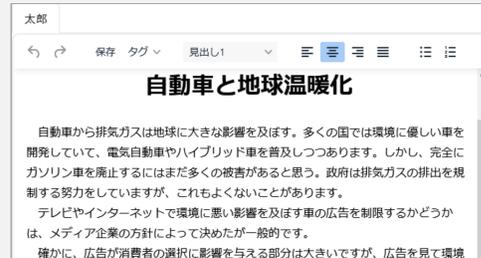
複数の学習者に伴うコメントの増加

- 量が多くなると、見にくく、管理も困難
- 振り返りの時に使いにくい

相互コメント活動の流れ(例)

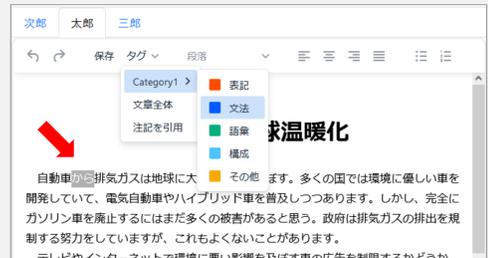


①各自, 作文



- 自分の作文のみ閲覧・編集可
- 簡易な文章構造(タイトル, 箇条書きなど)をタグ付け可能

②相互コメント(ラベル選択)

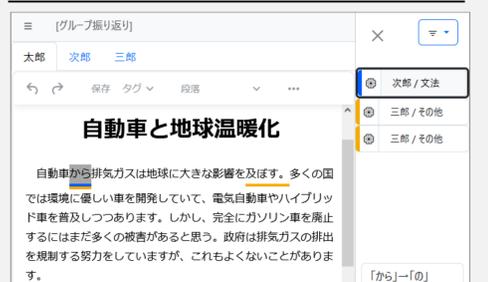


- 他のメンバーの作文へのアノテーションや閲覧が可能
- 他のメンバーのアノテーションは見えない

③相互コメント(コメント入力)



④グループ振り返り



- 全メンバーのアノテーションを同時に表示
- 作文への書き込み, アノテーションは不可
- アノテーション一覧は, タグ名などでフィルタリング可

改訂支援の方法

グループ単位でのバージョン管理

- 教師が活動対象のバージョンを一括管理
- 教師が新バージョンを一括作成



旧バージョンの参照

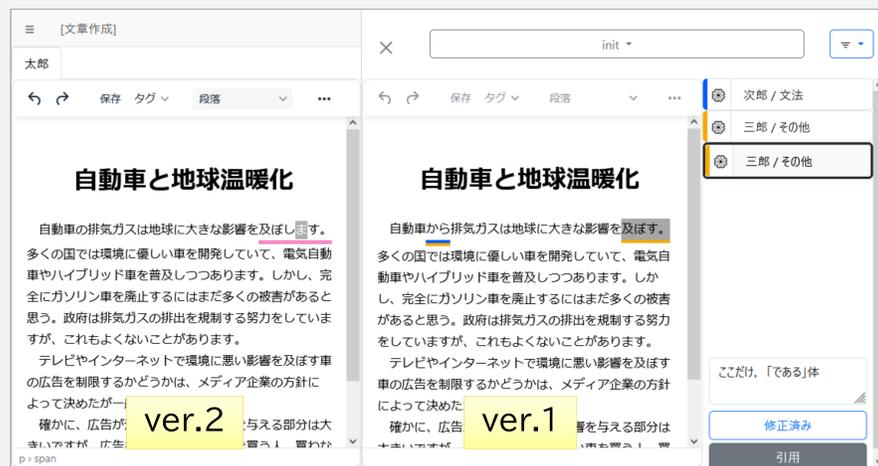
- 現バージョンと旧バージョンを比較
- 旧バージョン上のコメントに, 著者からの反応を付与

旧バージョンのコメントの引用

- 著者が現バージョンに改訂内容を自己コメント
- 改訂の基になった旧バージョンのアノテーションを「引用」

新バージョンへのアノテーションは, 教師の評価やグループ振り返りで利用することが目的

改訂支援機構の実現結果



ver.2の編集とver.1との比較

- 相互・教師コメント, グループ振り返りに基づいて, 改訂版(ver.2)を作成

- 変更箇所には, 必要に応じて, 自己コメントをアノテーション



他者コメントに対する反応と, 自己コメントへの引用

- 相互・教師コメント, グループ振り返りに基づいて, 改訂版(ver.2)を作成

- ver.2の変更箇所には, 必要に応じて, 自己コメントをアノテーション

議論とまとめ

従来手法との比較(ワードプロセッサの校正機能)

- 掲示板型のコメント
- 履歴管理は各自実施

提案手法の利点

- 複数の学習者の指摘を整理して, 修正版を作成できる
- 管理者が学習者全員の作文のバージョンを管理可能

提案手法の欠点

- 「引用」には二つのバージョン間での操作が必要
- コメントに対するコメントが直接できない

まとめ

3種類の改訂支援方法を含む機構を実装

グループ振り返りや教師の評価を考慮した手法